



## 新米議員折り返し点通過！評価はいかに？

—— 前半は議会のイロハを学びました。後半は心機一転打って出ます！ ——

何でも「見ると聞くでは大違い」と言いますが、議会も同じ、予想に違わず大違いでした。何せ高校の社会科教員として、政治経済や現代社会を教えていた時の教科書の自身は理想中心。現実とのギャップにふれても、所詮は聞いた話でした。

新米議員としてのこの二年間、私には異次元とも言える生きた社会の中に身を置かしていただき、実に興味深く、そして学ぶことの多い日々でした。もちろん、学ぶために議員になったのではありません。議員としての最大の勤めは、市政の方向を見定め、意見し、市民の願いを達成することにあると思っています。果たして、皆さんの付託にどこまで応えられたのか、その評価が気になるところです。

後半は、市民の皆さんの声と目線を大切に、心機一転励んでまいります。引き続きのご支援よろしくお願いたします！

### 平成一八年度決算を承認

決算議会とも言われる九月議会では、前年度の一般会計と特別会計の決算審議を中心に行いました。市政の市政を正し、次年度予算に繋ぐ評価が決算ですが、最も重要な審議の場なのですが、もう終わった事のように扱われがちです。行政では、これから予算案の編成に入ります。今年度より一層厳しい予算となります。決算の場に出された意見が重視され予算編成されることを臨みます。なお、審議の中で意見が集中したのは、「税の滞納」についてでした。

### 税の滞納問題

決算における市民税・固定資産税等の市税の収入率は約93%、約9億6千万円が未収です。この他、国民健康保険税6億2千万円、上水道料金2億2千万円や保育料の4200万円、給食費の1600万円など税や料金等の未収金が急増しています。市税や料金は全ての市民の公平・公正な負担が原則です。市では滞納徴収体制強化し、悪質な滞納者に対する毅然とした収納姿勢と早期改修、未収金の発生防止に努めるとしています。

### 水道料金値上げ

厳しい経営状況にある水道事業、残念ながら値上げせざるを得なくなり、基本料金10%、超過料金20円値上げされることになりました。

他の議案は「市議会だより」をご覧ください。

### 任期一年、最後の委員会

#### 総務常任委員会

市長選・市議選の公費負担を審議  
市長選・市議選に、意欲ある誰もが立候補できるようにするため、公職選挙法に合わせ、選挙カー、ポスター、ビラ（市長のみ）を公費負担（市議選で約百万円）するものです。総務常任委員会と本会議では、財政難や市民感情に留意する中、継続審査となりました。

#### 第二名神特別委員会

10月25日、亀山から大津までほぼ全線を視察しました。甲南を縦断する所以外は山また山の山岳ハイウエー、自然に包まれた快適な高速道路です。開通が楽しみです。

#### 地域情報化特別委員会

甲賀市全域に光ファイバーを敷設し、多種多様な情報を伝達することにより、市民の誰もが、いつでもどこでも情報の受信ができる（仮称）「あいこうかネットワーク」の基盤整備について検討してきました。民間活用を基本姿勢とすることから、甲賀ケーブルネットワーク、甲賀郡有線放送、信楽有線放送との調整がなされています。

#### 広報特別委員会

「市議会だより」五号から十二号の発行に関わりました。原稿書き、原稿の点検、紙面レイアウトの作成等、新たな視点と技術を学ぶとともに、市議会全体の動きを捉える場にもなり、定例議会が終わってからも充実した日々が続きました。

**甲南駅周辺整備について**

市長より平成21年度事業着手を目標に掲げ取り組むと答弁。建設部長からも、財政難等で予定より遅れてはいるが、補助事業の採択をもって事業着手したいとの答弁がありました。しかし、11月1日よりパブリックコメントにかけられている総合計画の平成21年度までの主要事業実施計画（450事業）には、甲南駅周辺整備事業は入っていませんでした。全員協議会で質問したところ、毎年見直しを行い、具体化された段階で入れるとのことでした。

**危機管理について**

市長より危機管理体制を確立するため、自然災害には平成18年度に地域防災計画を策定した。業務上の危機管理には総務部に危機管理対策室を設置して対応している。あらゆる事を想定し、細部にわたるマニュアル化と、常に危機意識と緊張感を保てるよう組織整備に努めると答弁。

総務部長より、緊急連絡通報体制として9月より登録者への携帯電話による「甲賀市緊急情報伝達システム」を導入した。緊急地震通報の導入は未定。夜間の火災等の通報は大規模火災以外は消防団召集を原則とする。自主防災組織の組織率は51%、要援護者への支援にも自主防災組織の果たす役割は大きく、早期の設立を願う。

**市財政状況について**

市長開会挨拶における市財政状況の数値を用いた説明について、その緊迫度を質しました。大変厳しい状況です。

**1-2月議会の質問予定**

**市のスポーツ振興策について**

- ・スポーツ少年団の活動状況と支援策
- ・町支援対応から競技団体の支援体制への移行は
- ・指導者への活動支援は
- ・中学校の部活動の活動状況と支援策
- ・部活動費はどのように組まれているか。生徒の個人負担や教育後援会活動について。
- ・青少年スポーツへの共通支援策
- ・好成绩団体への支援は
- ・スポ少、中学の部活動、高校の部活動を結び、地域スポーツの振興策は
- ・社会人スポーツの振興策は
- ・地域を活性化するスポーツ組織確立への支援策は
- ・スポーツへの振興策は
- ・自治区運動会への支援は
- ・町民運動会の復活や市民スポーツ大会（旧郡体）の開催について
- ・市内スポーツ施設の活用策
- ・スポ森の施設等の活用と観るスポーツの育成のための方策は

**各種計画の整合性について**

- ・甲賀市総合計画実施計画で何が変わり、何が新たに始まったのか。
- ・甲賀市国土利用計画と甲賀市都市計画マスタープランとの関係は

質問に対するご意見や要望をお聞かせください。質問に反映させて頂きます。

**大きなつぶやき**

四年任期の折り返し点、後半議会を方向付ける議長・副議長改選、会派内役選、委員会決定等が進められています。新米議員もその渦中で翻弄されています。しかし、30名の市議会も21名の清風クラブも、まだまだ形が定まっているには思えません。議会はどうかあるべきか、議員はどうあるべきか。会派とは何かを問い直しつつ歩んでいきたいと考えています。国政における混乱は国民不在です。姿勢においても市民を置き去りにした政争とならないようしっかりと見定めてまいります。

放送大学大学院のゼミで、10月6日～9日まで、韓国ゼミに参加しました。北朝鮮と国境を接する町での町職員や県会議員との交流研修、韓国政府人事委員会での研修、韓国地方公務員研究所での幹部や研修員との交流研修、韓国国会議事堂訪問、大統領府である青瓦台訪問と、普通では絶対に訪問することのできない場所と内容で研修しました。今後の議員活動に生かしたいと思っています。「夢来甲賀」の発行が、前号に引き続き12月定例議会の前までずれ込んでしまいました。次号は1年間のまとめ号として、12月に全町版を新聞折込で発行する予定です。乞うご期待！

**おながい**

一般質問への要望、「行政」や「教育」に関わる要望や相談をお寄せ下さい。一緒に考え行動します！

電話・FAX 八六 二二三九

メール yunekuruki.nur.a@bb.ne.jp